

## 地域における公益的な取り組み

### ☆出張紙すき教室

目的：障がいがある人たちも共生社会をめざす役割を果たす

方法：障がいがある人たちが、日頃の自分の仕事（牛乳パック再利用のはがき作り）の成果を地域の人に伝授。

成果：10年以上続けている。小中学校、公民館、老人施設等へ出張。  
28年度は5月11日に寺子屋サロン（迎接院）に出張し、地域の高齢者と紙すき交流をした。

### ☆中学生と人権学習交流

目的：地域の中学校と連携して生徒の人権学習の一環を担い、障がいについての学習やゲーム等を通して共生社会を探る。

方法：障がいがある人10数人が中学校に出かけ、生徒と交流。自己、質問、ゲーム等

成果：28年度は11月25日 10時55分～12時45分  
障がいがある人と支援者17名「みんなにとって住みよい社会にしていけるために」

### ☆愛サポート運動普及への取り組み

目的：遊歩の目的でもある共生社会の実現をめざす

方法：研修を受けて講師となる職員を増やし（現在3名）、あいサポーター研修の講師として活動する。

成果：28年6月29日 13時30分～15時30分

米子コンベンション

あいサポーター研修公開講座講師

障がいを知り、共生社会を共に学ぶ